東根市立第一中学校　学校だより
One　たった1つの自分の母校
No. 5　2022. 9. 21.
校長　伊藤　裕

教師になりませんか？　～「教師」の魅力をあらためて～

最近、教師に関わる話題であまりいいものを見かけません。どちらかと言えば「大変だ。」「ブラックな職場だ。」等の話題が多く、とても残念です。例えば…

> 教員の在校、1日平均11時間超　5割が「休憩0分」 連合総研調査　（9月7日　朝日新聞）
>
> 一丁目一番地は「働き方改革」 公立小教員の採用倍率、4年連続最低　（9月9日　毎日新聞）

学校だよりNo.４で「一中は楽しい！」とお伝えしたのは、校長の独りよがりだったのか？職員室で先生たちは、いつもイヤイヤ働いているんだろうか？とても心配になってきました。

そこで、若い先生たちはどう感じているのか知りたくなりました。これだけ「大変だ。」と言われている中で、なぜ教師になろうと思ったのか、実際になってみてどう感じているのか…。

ちょうど教育実習期間なので、実習生の小野凜香先生（山形大学３年生）に聞いてみました。

Q. 教師を志したきっかけは？

小野：小5,6の担任に出会ったことです。いつも笑顔が絶えず、前向きで、向上心のある先生でした。クラスのみんなが、先生と接していくうちに、雰囲気や考え方が明るく活気のあるクラスとなっていきました。先生がいつしか自分の憧れとなり、気がついたら教師を目指していました。先生のような、生徒と共に成長し、前向きで明るく、そして生徒が「学校が楽しい」と思えるような教師になりたいです。

Q. 教育実習をして、その思いは変わりましたか？

小野：授業をしている時や生徒と話している時、とても楽しくやりがいを感じています。実習授業が終わって生徒に感想を聞いて、「わかりやすかった。」「楽しかった。」と言われたときは達成感がありました。これからも精進し、憧れの元担任のような教師になりたいです。

教師１年目の佐藤光彩帆先生はどうでしょう？

Q. 教師を志したきっかけは？

佐藤：少しでも運動が楽しいと思う生徒を増やしたいと思ったからです。「体力テスト調査」の結果を見たら、運動を苦手と感じている生徒がスポーツに取り組む割合がとても低かったことを知って、そう思うようになりました。また、私は多くの人との関わりを通して成長してきたと感じているので、人と関わって成長していける職業がいいなと思っていました。

裏に続く

Q. 教師になって半年、どんなことを感じて毎日を過ごしていますか？

佐藤：先生方も生徒たちも個性が様々で毎日とても楽しいです。「私は私のままでいいんだな。」という自信がつきました。『教師の仕事＝授業』というイメージでしたが、思っていたより授業や部活動以外の仕事が多く、知らなかったことの方が多いなあと感じているところです。

２年目の青柳陸先生にも聞いてみましょう。

Q. 教師を志したきっかけは？

青柳：中２の時の担任が「将来、教師とかどう？」と声をかけてくれたのがきっかけ。実際、「人と関わる仕事」「言葉を扱う仕事」がしたかった。あと、自分を成長させてくれたハンドボール界に貢献したいという思いもありました。

Q. 教師になって１年半です。今どんなことを感じていますか？

青柳：生徒たちの成長や変化を近くで感じられ、支えることができる、とてもおもしろい職業だと思います。「昨年だったらあきらめてたのに、今年は難しい問題にも一生懸命に取り組んでるなあ。」とか、「いろんな役割や仕事にチャレンジしていてすごいな。」とか、生徒の成長に驚かされることもあります。生徒たちが日々そういった新しい一面を見せてくれるからこそ、自分も毎日フレッシュな気持ちでいられるし、エネルギーをもらえます。一方、楽しいことばかりではなく、「これは教師の仕事ではないのでは？」忙しくて残業しないと仕事が回らないのに「授業準備や部活に集中させてくれ～」と感じるときもあります。ただ、そういったことがあっても生徒が活躍する姿や頑張る姿を見ると、自分も頑張ってよかったなあと思います。

教師とは、生徒が成長する姿を目の当たりにできる職業です。やはり３人ともそういう教師の魅力を実感しているんだなあ、ということが伝わってきました。「中学生は一晩で変わる」中学生はちょっとしたきっかけでグンと成長します。これまでもそんな中学生にたくさん出会ってきました。そんな中学生を見ることで、教師も刺激を受けて成長します。それが教師という職業の魅力です。それはベテラン教師にとっても同じで、何年たっても変わりません。

「生まれ変わったら就きたい職業は？」ある保険会社が教師を対象にアンケートをとりました。それに対する回答は「教師」が最も多かったそうです。「大変だ」「忙しい」「ブラックだ」そう言ってはいるものの、やはり教師という職業は大きな魅力を持っているのです。もちろん「ブラックな職業」でいいわけありませんから、授業やいろいろな活動などの、教師本来の業務に集中できる環境が整わなければならないし、それは私（校長）の仕事でもあります。

中学生のみなさん。あなたがこれから選ぶであろう職業の候補の一つに、「教師」を加えてみてはいかがですか？*とてもやりがいのある仕事ですよ。*

No.４「楽しくなければ一中じゃない」に感想をお寄せいただきありがとうございます。

今後も感想等いつでも歓迎します。